

3. 腹部ヘルニア治療ニーズ

(2) 千葉県の鼠径ヘルニア治療と有床診療所手術

千葉県内の鼠径ヘルニア治療実績 (2015年4月～2016年3月退院患者統計)

有床診療所手術の意義

順位	病院名	治療実績	
		合計件数	手術あり
1	国立病院機構 千葉医療センター	244	244
2	順天堂大学医学部附属浦安病院	240	240
3	松戸市立総合医療センター	238	238
4	成田赤十字病院	206	206
5	東京女子医科大学附属八千代医療センター	195	195
6	君津中央病院	194	194
7	亀田総合病院	183	170
8	千葉市立海浜病院	167	167
9	千葉ろっさい病院	151	151
10	JCHO船橋中央病院	146	146
11	東京ベイ・浦安市川医療センター	136	136
12	千葉西総合病院	133	133
13	総合病院 国保旭中央病院	132	132
14	新松戸中央総合病院	126	126
15	千葉メディカルセンター	125	125
16	日本医科大学千葉北総病院	123	123
17	千葉県済生会習志野病院	123	123
18	東京歯科大学市川総合病院	119	119
19	辻仲病院柏の葉	118	118
20	千葉市立青葉病院	118	118
21	東京徳島会医科大学附属 柏病院	115	115
22	鎌ヶ谷総合病院	113	113
23	千葉大学医学部附属病院	111	111
24	聖隷佐倉市民病院	106	106
25	東邦大学医療センター佐倉病院	106	106
26	千葉県こども病院	105	105
27	千葉徳洲会病院	100	100
28	津田沼中央総合病院	99	99
29	船橋市立医療センター	95	95
30	千葉中央メディカルセンター	82	82
31	さんいん医療センター	79	79
32	鎌田病院	70	70
33	セコムメディック病院	69	69
34	柏原総合病院	67	67
35	東葛病院	64	64
36	公立長生病院	63	63
37	キッコーマン総合病院	62	62
38	東千葉メディカルセンター	56	56
39	小張総合病院	56	56
40	千葉県立佐原病院	56	56
41	船橋総合病院	53	53
42	安房地域医療センター	49	49
43	成田富里徳洲会病院	47	47
44	東葛辻仲病院	47	47

順位	病院名	治療実績	
		合計件数	手術あり
45	おたかの森病院	45	45
46	国立国際医療研究センター国府台病院	45	45
47	柏市立柏病院	45	45
48	大網白里市立国保大網病院	44	44
49	みつわ総合病院	43	43
50	谷津保健病院	43	43
51	名戸ヶ谷病院	43	43
52	玄々堂若津病院	43	43
53	農成病院	42	42
54	行徳総合病院	40	40
55	帝京大学ちば総合医療センター	39	39
56	山王病院	36	36
57	四街道徳洲会病院	34	34
58	千葉県循環器病センター	31	31
59	JCHO千葉病院	28	28
60	島田総合病院	26	26
61	柏たなか病院	23	23
62	国保匠市市民病院	22	22
63	千葉愛友会記念病院	21	21
64	東邦鎌谷病院	21	21
65	浦々浦さつき総合病院	20	20
66	いすみ医療センター	20	20
67	館山病院	19	19
68	国際医療福祉大学市川病院	19	19
69	平和台病院	18	18
70	成田病院	17	17
71	国立病院機構 下志津病院	17	17
72	福毛病院	17	17
73	国保多古中央病院	16	16
74	塩田病院	15	15
75	晋志野第一病院	15	15
76	野々口総合病院	15	15
77	流山中央病院	15	15
78	板倉病院	14	14
79	横芝光町立東陽病院	14	14
80	国立病院機構 千葉東病院	13	13
81	我孫子聖仁会病院	12	12
82	北総白井病院	12	12
83	五井病院	12	12
84	井上記念病院	11	11
85	矢倉病院	10	10
86	大野中央病院	10	10
87	野田病院	10	10

6,142 6,129 13

“手術に関しては、日本臨床整形外科学会有床診療所部会の調査(平成28年)では、年間手術件数(局麻含む)が100例以上は51施設(43%)、50例以上では64施設(53%)であった(回答数120)。

このように、有床診療所においても多くの手術を行っており、病院への集中を防ぎ、勤務医の負担軽減にも寄与していることが伺える。”

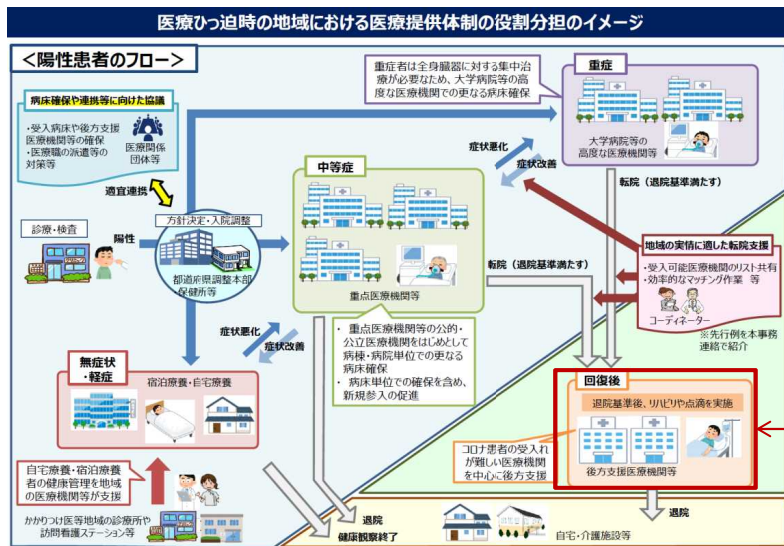
(「令和元年度有床診療所委員会答申」令和2年2月日本医師会有床診療所委員会より抜粋)

千葉県の鼠径ヘルニア治療は年間約6000人で、病院での手術治療が大勢です。有床診療所での手術推進により、病院の負荷軽減が期待されます。

出典：医療総合サイトQlife：鼠径ヘルニア／病院別鼠径ヘルニアの治療実績(千葉県)
「令和元年度有床診療所委員会答申」令和2年2月日本医師会有床診療所委員会

4. 病院からの患者受渡機能 新型コロナウイルス回復患者の後方支援

令和3年2月16日 新型コロナウイルス感染症の医療提供体制の整備(事務連絡)より



また、令和3年2月2日に変更された「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」においても、

- 「病床が逼迫している場合、令和2年12月28日の政府対策本部で示された「感染拡大に伴う入院患者増加に対応するための医療提供体制パッケージ」を活用しつつ、地域の実情に応じ、重点医療機関以外の医療機関に働きかけを行うなど病床の確保を進めること」
- その際、「地域の関係団体の協力のもと、地域の会議体を活用して医療機能(重症者病床、中等症病床、回復患者の受け入れ、宿泊療養、自宅療養)に応じた役割分担を明確化した上で、病床の確保を進めること」とされており、加えて、
- 「新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる医療機関の病床を効率的に活用するため、回復患者の転院先となる後方支援医療機関の確保を更に進めること」

地域包括ケアシステムに必要な「病院からの患者受渡機能」に加え、新型コロナ対応では「回復患者の転院先となる後方支援」も求められています。

出典：厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部
事務連絡「新型コロナウイルス感染症の医療提供体制の整備に向けた一層の取組みについて」(令和3年2月16日)

事業計画の基本方針

事業計画の背景

1. 現クリニックの概況

- ・ 開業から27年の地域かかりつけ医
- ・ 事業承継が必要
- ・ 君津医療圏の他の医療機関と連携しやすい立地

2. 地域背景

- ・ 高齢者人口増を見据えた在宅医療推進
- ・ 急変時の入院先の確保
- ・ 君津医療圏における回復期病床の不足

3. 腹部ヘルニア手術ニーズ

- ・ 後継者専門スキルを活かした事業承継
- ・ 有床診療所における小手術推進による病院の負荷軽減

4. 病院からの患者受渡機能

- ・ 病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受渡機能
- ・ 新型コロナウイルス感染症の回復患者受入機能（後方支援）

今後の診療機能

①かかりつけ医

- ・ 地域密着の医療提供
- ・ 地域住民の健康管理
- ・ 在宅医療支援

②腹部ヘルニア等の小手術

- ・ 後継者スキルを活かした事業承継
- ・ 専門医による小手術
- ・ 圏内病院・診療所との連携

③回復期病床（10床）

- ・ 急変時の患者受入
- ・ 病院からの患者受入
- ・ 地域医療機関からの患者受入

背景を踏まえ、①かかりつけ医機能、②腹部ヘルニア等の小手術機能、③回復期病床機能（10床：休床2床再開、増床8床）を担う計画を立案しました。

11

事業計画の概要

現クリニック隣地に新棟建築

①休床→回復期病床(2床)

②回復期病床(8床)

③かかりつけ医

現クリニック



新棟予定地

- 現クリニック
 - ・ 約400坪（駐車場を含む）
 - ・ 病床2床（休床→回復期病床）
- 新棟
 - ・ 隣地の約100坪程度に建築
 - ・ 地上3階建ての鉄骨構造を予定
 - ・ 病床8床（回復期病床）

現クリニック+新棟の事業計画

- 常勤医師は2名で運営
- 新棟
 - 腹部ヘルニア等の小手術ができる手術室を設置
 - 8床の回復期病床を設置
 - 診察室、洗浄消毒室、事務室、浴室、ストレッチャーの入るエレベータ等を設置
- 現クリニック
 - 診療機能の変更なし
 - 現在休床中の2床を回復期病床として運用再開（新棟と連携）

12

医師の配置

	新棟	現クリニック
①かかりつけ医 ・ 地域密着の医療提供 ・ 地域住民の健康管理 ・ 在宅医療支援	○	◎
②腹部ヘルニア等の小手術 ・ 後継者スキルを活かした事業承継 ・ 専門医による小手術 ・ 圏内病院・診療所との連携	◎	—
③回復期病床（10床） ・ 急変時の患者受入 ・ 病院からの患者受入 ・ 地域医療機関からの患者受入	◎	○
	山本 海介 (後継者)	山本 健介 (現院長)

・ 国立千葉病院外科、国立病院機構千葉医療センター外科を経て、医療法人四谷メディカルキューブ勤務。千葉県在住。
 ・ 千葉県及び東京都で、鼠径部ヘルニア治療経験2700病変以上（鼠径部切開法：1700病変／腹腔鏡下手術：1000病変）
 ・ 日本外科学会認定専門医、日本内視鏡外科学会技術認定取得者（消化器・一般外科領域）、日本消化器外科学会認定専門医、日本消化器外科学会指導医、日本消化器外科学会専門医・消化器がん外科治療認定医、日本腹部救急医学会認定医・教育医、緩和ケア研修会修了済、日本ヘルニア学会評議員およびガイドライン委員、日本腹部救急医学会評議員

後継者の指導医・教育医資格を活かし、若手外科医の教育・育成にも取り組む所存です。

新棟設置後のクリニックの概要

名称	医療法人社団健誠会 Kenクリニック	
管理者	山本 健介	
所在地	千葉県袖ヶ浦市蔵波台 6-19-1	
標榜診療科	内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、皮膚科、泌尿器科	
届出施設基準	時間外対応加算2	第70号
	小児科外来診療料	第326号
	酸素の購入単価	第24187号

- ・ 名称、管理者、診療科目変更なし
- ・ 鉄骨3階建て新棟を隣地に増築

- ・ 詳細検討中

届出病床	2床(院長高齢化により休床中)
------	-----------------

- ・ 回復期病床10床
(2床を再開し8床を増設)

人員体制	医師	常勤	1名
	看護師	常勤	2名
事務		非常勤	1名
		常勤	2名
		非常勤	2名

- ・ 常勤2名、非常勤1名

- ・ 詳細検討中

新棟診療開始は令和4年3月（予定）としております。
 以上、宜しくお願い申し上げます。